学校教育活動の再開に向けて

校長　岩澤　尚彦

緊急事態宣言の中、分散登校という形で学校を再開いたしました。保護者の皆様、学校関係者の皆様には、感染状況の悪化により変更を重ねたことを深くお詫び申し上げます。昨年の再開当時と比べると状況は、さらに深刻です。不安を抱えている保護者の皆様、地域や学校関係者の皆様もいらっしゃることと思います。

学校を再開する上で、消毒作業や教育活動の制限等の対策をさらに強化し、感染リスクをいかに軽減するかが重要な課題であると認識しています。夏季休業期間中には、対策の一環として、教職員もワクチンの接種を進めております。

非常事態宣言後、再開に向けて、横浜市の最新の指針を全教職員で共有し、登校から下校までのリスク軽減を検討してきました。

リスクが高まる場面を想定し、具体的に想定をして、対策のレベルアップを図りました。例えば、給食時の当番の受け取りから配膳、食事中や片付けまでの児童の動線や行動の詳細までをシュミレーションし、手洗いだけでなく手の消毒のタイミングや間隔を維持しながら作業を行うなどの改善を図りました。また、学校医の先生にアドバイスをいただき、発熱した児童の対応方法や他の来室児童に影響が及ばないような保健室のレイアウトを変更いたしました。

さて、対策については、学校のみならず各ご家庭の協力なくしては、成立いたしません。

まずは、体調不良の場合は確実に欠席させていただくようにお願いいたします。「様子をみながら登校させました」というお声をいただくこともございますが、緊急事態宣言下においての現在の状況から考えると感染リスクは高まります。ぜひ、このような面でも十分ご検討いただきながらご協力いただければと思っています。

現在、登校できなかった時の学習方法についても検討をしております。タブレット端末の活用についても必要に応じて取り組んでまいります。

ご協力いただくことについては、次のように挙げさせていただきました。感染の状況によっては、追加をさせていたくことも予想されます。また、学年便りにおいても掲載してございますので必ずご確認ください。

心よりご協力お願い申し上げます。

【保護者の皆様へのお願い】

○　健康観察の徹底

・健康観察の徹底をお願いいたします。風邪様症状が見られたら、登校を控えてください。また、受診し、医師の診断を受けてください。

○　登校後、お子さんから風邪様症状の訴えがあったときは、微熱等であっても早退の対応をとらせていただきます。保護者のお迎えをお願いいたします。

○　マスクの着用とソーシャルディスタンス

・喫食時以外は原則としてマスクの着用をお願いいたします。暑さ等でマスクをはずすときは、絶対に話さないよう、お子さんにお声かけください。

・友達とハイタッチをする等の他の人との接触は避ける、また、ソーシャルディスタンスをとるよう学校でも指導しておりますが、ご家庭でもお子さんにお声かけください。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて本校の防止対策】

○　換気に努めます。暑い時期ですが、換気のため、教室の扉を開け、換気扇・扇風機を利用します。給食時も換気強化を行い、黙食、手洗い、喫食時以外はマスクをするよう児童に指導いたします。

○　給食当番は手洗いを十分にするよう指導いたしますが、給食室へ入る前に、改めて手指をアルコールで消毒します。緊急事態宣言期間、牛乳パック・ストローは担任が洗います。

○　学校の教育活動は学級単位とし、学年や学校全体での活動は行いません。委員会活動の当番活動も行いません。